

エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

「群馬県地域環境学習推進事業」湧水地見学会

日時 平成24年12月15日 9時～

会場及び見学場所 綿打行政センター 矢太神・妙参寺・谷地池・通木他・他

心配されていた天候も問題なく、参加者7名と少し寂しい感も有りましたが、予定通り開催されました。新田地域の湧水地や当日の見学場所を予めDVDで勉強してから、国指定史跡の矢太神沼水源の水源を見て頂き、冬期に水量の減るのが心配の時期でありましたが湧水の現状を確認して頂きました。その後「ため池百選」の妙参事沼、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定された、谷地池からドブゼキへの水路を見て頂きました。谷地池については特定外来植物のオオフサモ等がハビコリ今後の整備・保全の課題となります。地域の湧水地や水路の自然環境を、今後も地域のみなさんの協力を頂きながら保全に勤めてゆきたいと参加者皆さん自然現象の大切さを改めて感じて頂けたようでした。



きれいな水路に見えても外来種が・・・



矢太神沼水路付近の見学



谷地池からの水路（ドブゼキ）見学



美濃谷戸沼見学

太田市NPO・ボランティアフェスティバル

日時 平成25年1月13日(日)13時～16時

開催場所 太田市イオンモール2Fイオンホール

太田市の NPO 協議会に所属する団体他、活動をしている人達が、イオンモール 2 F イオンホールに 10 組の展示及び、5 団体の芸能紹介で日頃の活動状況を市民のみなさまに紹介しました。

楽器演奏、日舞といろいろ披露されました。中で会場が盛り上がっていたのが、マジックでお客様を手玉にとってチャップリン姿でお客様を楽しませていた、佐藤さんの芸は素晴らしいものでした。

「新田環境みらいの会」も展示で、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」選定の紹介を致しました。



西村理事長の活動紹介



忙しい時間の中、笹川衆議院議員来場挨拶



盛況だった会場風景



会場が盛り上がった佐藤マジシャン

平成25年1月度・生品土曜スクール開催

日時 平成25年1月19日(土)

開催場所 生品行政センター

正月早々のスクールで、寒い中子供たちは元気で、3Rスゴロクと水の循環を旅するゲームで自然界の中で動植物の勉強をして自然界のサイクルの大切さを学びました。



環境を考える3Rスゴロク



水の循環を旅する「驚異のたび」

「群馬県地域環境学習推進事業」講演会

「湧水の保全と流域の生物多様性について」

日 時 平成25年2月2日 13:00～16:00
開催場所 綿打行政センター 会議室
講 師 日本生態系協会 安藤 正行 先生

今年の学習会は、関東に残したい自然として、「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に矢太神沼周辺と谷地池周辺の水路が選定されましたので、日本生態系協会から安藤先生をお招きして「湧水の保全と流域の生物多様性について」講演して頂きました。

当日の講演については、大間々扇状地の特質は勿論のこと、地球上で営まれる河川の必要性和、日本国内の河川がどんな歴史を経て今日のように、人間はじめ生物に水は無くてはならない大切なものと成って利用しできてきたのか学ぶ事ができました。生まれ育った地域の自然界の河川を含めた風景が変わらず残せる様な活動の必要性を改めて感じた講演でした。

この後、選定された矢太神沼周辺と谷地池周辺に対して、赤穂理事から今後の保全活動の取組み方法と計画の発表がありました。また、今後残したい景観の廣瀬宅環濠屋敷（通木湧水地）の紹介もあり参加頂いたみなさんも地域の自然環境の大切な事を学習したようでした。



理事長・副理事長の挨拶



安藤先生による、理解しやすかった講演会



若林講師による「廣瀬宅環濠屋敷」紹介



赤穂理事による、今後の取組み計画紹介

第5回・綿打ふれあいまつり

日時 平成25年2月9日10日(土・日)9時～16時

開催場所 綿打行政センター

「綿打ふれあいまつり」今年で5回目を迎えました。「新田環境みらいの会」は今年も展示参加させて頂きました。2日間の参加でしたが、知名人をはじめ沢山の皆さんに会場に来て頂きました。当会の活動もご理解頂いたようです。展示物のほか、お子様による世界に一つのマイバック作りは今年も盛況でした。また、老化防止？対策のゴミ箱折がみづくり、何回も挑戦していた人もいたようですが、家に帰ってからチャント折れたのかな～！！

2日目の大ホールでは日頃の演芸成果を披露しあって盛り上がり楽しんでおりました。

“おいしいお茶や食事も頂きました、ごちそうさまでした。” 来年も宜しくお願い致します。



みなさまの来場待ちの展示会場



地域の皆さんも多数来場致しました。



小学校校長先生も来場頂きました。



笹川衆議院議員も須永秘書と来場



世界に一つのマイバックづくり



折り紙教室で苦戦中！！

生物多様性現地調査

日時 平成25年2月16日(土)9時～

開催場所 新田勤労会館

調査区域 谷地池下流水路

今年度の生品小学校「土曜スクール（環境）」も今回が最後となった。野外活動の行事では寒くてかわいそうだったが、地域の河川清掃活動、谷地池の生物調査が行われました。さすがに水中生物の確認は出来ませんでしたが、持ち帰った水のパックテストでPHは中性（7.0）を確認できました。



作業開始前に勢揃い



水路の清掃から



水質検査の試料採取



パックテストでの水質確認作業



PH検査結果は中性(PH7)を確認



PH検査をするメンバー

群馬県地域づくり協議会に加入

太田市から推薦して頂き群馬県地域づくり協議会に加入しました。今後研修会・講演会への参加や全国協議会が実施する講師派遣事業・地域づくり活動支援事業の助成を受けることができます。また当会が主催するイベント情報等の案内を全ての加入団体に発送して頂きます。

群馬県地域づくり協議会 概要（協議会の H.P から抜粋）

I 趣旨

群馬県地域づくり協議会は、地域づくり団体と県・市町村と一緒に地域づくりを考える場です。講演会や研修会等を通じた人材育成や、構成団体相互の活発な交流を通じた人的ネットワークの形成など、各団体がそれぞれの個性を発揮していきいきと活動していくための支援を行うとともに、地域づくり団体と行政との交流を通じた両者の連携強化を進めます。

II 構成

本協議会は事務局を群馬県企画部地域政策課内に置き、県内の各市町村と県及び市町村の推薦を受けた地域づくり団体（平成24年2月末現在190団体）で構成されています。

また、各都道府県の協議会で構成する「地域づくり団体全国協議会」を通じて、全国レベルでの交流、情報交換も可能です。

モニタリングサイト 1000 里地調査一般サイトに選定される

環境省のモニタリングサイト 1000 里地調査一般サイトに選定され平成25年から植物、水環境について調査を行います。会員のご協力をお願いいたします。

I. 対象地域

「矢太神沼から妙参寺沼周辺」

II. 調査対象

(1) 水環境

目的：

生態系の基盤としての水環境の特性を把握するとともに、集水域での土地利用変化の影響を把握する。

調査手法：

調査地点ごとの水位・流量、水温、水色、pH、透視度を記録する（毎月～年4回）

(2) 植物相

目的：

草本植物を主な対象として、生態系の基盤をなす植物の相を把握するとともに、開発や管理放棄、外来種による影響を把握する

調査手法：

調査ルートを設定し、月に1回、花や実など有性繁殖器官のみられる植物（主に草本）の種名を記録す

モニタリングサイト 1000 は、動植物の生育生息状況などを100年にわたって同じ方法で調べ続けるサイト（調査地点）を全国に1000ヶ所程度設置し、日本の自然環境の変化をとらえようという環境省のプロジェクトです。生態系タイプ（森林、里地里山、陸水域（湖沼、湿原）、沿岸域（砂浜、干潟、藻場、サンゴ礁等）、小島嶼）ごとにサイト設置、調査項目及び調査手法が検討されており、このうち里地里山タイプの調査をNACS-Jが担当しています。

「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」冊子で紹介される

NPO 法人 新田環境みらいの会
— や た じ ん ぬ ま や ち い け 矢太神沼及び谷地池周辺 —

File 61

DATA

活動地：群馬県太田市

面積：5,000㎡

活動開始時期：2003年5月

URL：<http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>



活動内容について

太田市新田地域には、赤城山の南東麓斜面に位置する大間々扇状地があり、この扇端にはかつては118ヶ所の湧水地群が記録され農業に利用されてきました。近年活用されなくなった多くの湧水地は埋め立てられたり放置されたりしていますが、現在でも約30ヶ所の湧水地で水が湧き出ています。

湧水地は、生物の源である水を生み出し、身近な水辺のある風景として多くの人に安らぎを与えられる場、さらに、次世代を担う子どもたちの自然環境の学習の場としても重要であることから、現在残されている数少ない湧水地を我々市民団体や地元・行政が連携して、自然環境としての質の向上を図り、身近に水辺と緑のある原風景を目指して次のような保全活動を実施しています。

湧水地及びその下流水路と周辺の環境調査、除草やゴミ清掃、子どもたちの水辺自然環境観察の学習補助、環境フェアー等のイベントにおいて湧水地を取り巻く自然環境の現状の紹介や見学会の開催等に取り組んでいます。

今後は残されている湧水地の中で、自然環境が豊かな矢太神沼及び谷地池周辺について勢力を増してきている外来種の除去、自然観察施設の整備等について関係機関とともに対策を講じていきたいと考えています。



良好な環境を残したいとの共通の思いから大勢の参加のもとに実施した環境管理作業



水路河岸が自然植生のまま湧水が流れる、かつての小川のイメージが残されている水路

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から助成金を頂く

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社北関東AD倶楽部は3つの柱（情報提供、企業交流、地域貢献）で地域に貢献する活動を行っています。活動の一つ地域貢献に「Web 約款」を取り扱う支社の地域で環境保全活動を行うNPO団体に、「Web 約款」契約を選択した件数に応じた金額の寄付を行っています。

NPO法人「新田環境みらいの会」では日頃行っている湧水地や水路の保全活動、景観を保全するための清掃活動やパトロール、市民への環境講座等の活動が評価され、寄贈団体として認定して頂いています。今年度は153,537円の助成金を頂きました。

2月21日に群馬会館で行われた贈呈式と講演会には深澤理事と若林さんが出席し目録を戴きました。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 助成金を頂く

新田環境みらいの会では「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の2012年度下期（2012年9月～2013年2月）の助成団体に登録され、毎月11日のイオンデーに多くのお客様からお買い上げのレシートを当会に投函して頂きました。投函して頂いた黄色いレシートの総額は1,166,600円で1%の11,600円が当会に寄贈されました。上期の8,100円とあわせて19,700円のイオンギフトカードを頂きました。

当会は来期（2012年9月～2013年2月）の団体としても登録され、3月24日にイオンモール太田店で寄贈式と来期の登録団体が紹介され、西村、神岡、高井が参加しました。

会員の皆様がイオン太田店で毎月11日に買い物をされる場合は黄色いレシートを当会のボックスに投函して頂きますようお願い致します。



イオン太田店店長様より目録が寄贈される。



イオン太田店店長様挨拶

平成25年度行事計画予定表

- | | |
|----------|---------------|
| 5月18日（土） | 生品小学校土曜スクール |
| 5月25日（土） | 定期総会 |
| 6月8日（土） | 身近な水環境の全国一斉調査 |

会報「エコ新田みらい」の原稿、ご意見は西村理事長及び、広報担当まで連絡宜しくお願い致します。
広報担当 連絡先 椎名 美雄 [E-mail:shiina_y@cameo.plala.or.jp]